

令和4年度 第2回 学校運営協議会 議事録

- 1 日時・場所 令和4年10月24日(月) 午前9時30分から午前11時30分
伊豆田方分校 PC室
- 2 参加者 学校運営協議会委員
河野 真人、鈴木 志津子、岩田 聡志、海野 貴、川口 佐知子

伊豆田方分校
校長、教頭、主事、教務課長

3 協議事項等

(1) 校長挨拶

- ・コロナによる行事の変更(修学旅行3泊4日→2泊3日)
コロナ感染症対策は以前と同じように続けていく。
- ・前期終了に伴う学校評価→学校運営協議会委員と共に行う。
(委員は県教委から委嘱されている。)

(2) 前期の取り組みについて

(ア) 前期の取組の報告(部主事から)

- ・スライドにて説明～6月から10月の生徒の様子
ビジネスマナー講座や進路学習週間、職場実習やキャリア教育スクールなど、進路指導の充実。校外学習や職業教育展、クッキー・体育・作業など田方農業高校や地域との各種交流、WAZAチャレンジなど経験の拡大。防災講座での防災意識の高まりなど、写真スライドにて紹介。

(イ) 作業学習の見学

- ・各作業班の取組の様子

(3) 学校運営に係る意見交換

(ア) 後期の取り組みについて(教頭から)

○前期取組の反省(教頭)

<学校評価アンケートより>

- ・防災学習～個々の防災ハンドブックを3年間の学習を通して作成している。卒業後にも活かせるよう期待している。
- ・ICTを活用した学習が充実した。(校外組織との交流にも活用が期待できる。)
- ・部活動の活動回数の見直しや外部指導者を活用することを検討していきたい。

<安全>

- ・生徒に寄り添いながら指導をすることができていた半面、他学年の生徒の指導に気兼ねしてしまう職員もいた。→日常の情報交換の中で生徒の気になる点についても分校全体で共有していきたい。
- ・性に関する指導で、教職員の評価が80%に達しなかったが、卒業後に被害者加害者にならないことも含めて、さらに指導を充実させたい。
- ・学校で学習したことを家庭でも共有できるよう、今後も学習したプリントの持ち帰りなどを積極的に行っていきたい。
- ・卒業後の安心・安全な生活に向け、外部専門家の力を借りることも考えている。

<専門>

- ・生徒同士が練り合い、関わり合う授業が根付いてきている。(特に防災学習)
→作業学習の中に移行していきたい。(作業製品の試作、マーケティングやアンケートなど、作業学習における練り合いや関わり合いの場を充実させたい。)

<連携>

- ・共生・共育はおおむねできていた。
→より良い関係を築ける機関を開拓していきたい。
→田方農業高校との連携を、防災や危機管理面でも更に深めていきたい。

<チーム>

- ・デジタル掲示板や保護者への連絡でのCOCOOを活用することで、業務改善を進めることができた。
→全てをデジタル化しないで必要なものを見極めながら更に進めていきたい。
(保護者の要望に合わせてプリントを配布)

<その他(自由記述より)>

- ・PTA活動について、負担軽減を含めた見直しが必要ではないか。
→広報のデジタル化、研修のYOUTUBE配信など、PTA組織の中で相談していく。

(イ) 意見交換

- ・函南町の6事業所(自立支援協議会)とのつながりを重視すると良い。
 - 学校と放デイとの意識の擦り合わせが期待できる。
 - 保護者のもつ将来の不安(お子さんの経済的自立など)が把握できる。
 - 学校が福祉とが繋がるきっかけができる。園芸班の野菜収穫をどこかの事業所と協働できないか、製品の販路を広げられないか、などの相談ができる。
- ・保護者として、就職支援の充実を実感できた。
 - 入学当初は企業就職を目指していたが、職場実習をとおして実態をつかみ、福祉事業所での実習も経験した。両方を比較し、将来について具体的に考えることができた。

- ・作業学習見学の感想他

- 生徒の技術レベルが高い。学習の中で習得した技術なのか、もともと器用だったのか？知りたいと思った。雇用する側の立場として、個々の能力を把握しておくことで、高いレベルで能力を伸ばしていけると考える。

- 雇用に関しては、仕事や作業の能力だけで本人を見ずに、心理的なケアをしながら自信を持たせることで、長所を伸ばそうと考えている。

- ・永続的な支援体制が重要である。

- 卒業後につまずいて引きこもってしまう方もいるが、福祉の支援で成長される方も多し。支援体制が整っていることが大事なので、学校でも相談支援の場所があることを伝えてほしい。

(ウ) まとめ (河野コーディネーターから)

- ・生徒の自主性を引き出す授業作りは非常に難しいが、特別支援学校においては生徒に寄り添う指導や教師が待つ姿勢が定着し、生徒が主体的に考える授業が行われている。
- ・地域との関りを大切にして、福祉事業所との連携をより進めてほしい。

4 次回 (第3回学校運営協議会) の予告

- ・期日：第3回 令和5年2月6日(月) 9:30~11:30

- 内容：令和4年度学校評価について 及び 令和5年度の学校運営計画提案 等